

○子育て座談会の開催に関する事前質問

Q 参加者からの質問・意見 A 市からの回答	
Q1	3年程前から一時預かり保育を希望する声が届いているかと思えます。市長は、一時預かり保育の必要性をどのようにお考えでしょうか。
A1	一時預かり事業の実施を望む保護者の声があり、必要としている方が一定数いるということは十分に理解しています。
Q2	一時預かり事業は、検討されておりますでしょうか。すでに検討されていまして進捗状況を、また、難航している場合、その理由をお聞かせいただきたいです。
A2	一時預かり実施に関する検討は以前から行っていますが、実施には至っておりません。昨年度開始したファミリーサポート事業で、どの程度まで対応できているのか検証して、事業化を考えたいと思います。
Q3	公園の遊具や公園駐車場の整備の予定はありますか。
A3	公園遊具については、公園施設長寿命化計画を策定して、利用状況などを考慮しながら計画的に整備しています。公園駐車場については新たな整備は予定をしておりませんが、本計画に位置づけをされている箇所については、整備を進めている状況です。
Q4	公園は、時期によってものすごく草が茂っていて虫の被害にあったりするのですが、どのくらいの頻度で管理されているものなのでしょうか。
A4	公園の草刈りなどは、利用状況に応じて異なりますが、年間5～6回ほど実施しています。夏場は一時的に草が茂る状況もあるかと思えますが、清潔感のある公園管理に努めてまいります。
Q5	保育所等の教育関連施設にもっと多くの先生たちを配置してほしいという声があります。全国的にも、保育士さんなどの成り手が不足していると思えます。四万十市は人材確保にどのような対策をされているのでしょうか。
A5	保育士は、法で定められた配置基準に従い各クラスに配置しています。一部の年齢では国基準を上回った配置を行って、安全な環境での保育に取り組んでいます。保育士は退職者と同数を採用しており、今年は45歳以下の職務経験者枠を設けて人材確保にも努めています。また、障害を持つ児童などへの加配についても、必要に応じて保育士を雇用して対応しています。
Q6	共同保育所が立て替え予定ですが、他にも立て替え予定のある保育所はありますか。
A6	具体的には決まっていますが、今後、施設の老朽化に伴い建て替えを検討していきます。
Q7	0歳から利用できる保育施設が増える見込みはありますか。
A7	令和3年度より、あおぎ保育所で0歳児保育を開始します。また、ひかりこども園では、これまでより2名増員して0歳の定員を20名とします。
Q8	日祝日に利用できる保育施設が増える見込みはありますか。
A8	令和3年度開所のひかりこども園で休日保育を新たに開始します。
Q9	保育所に対する、災害対策の強化を希望する声があります。日頃から避難訓練等をたくさん行っていると思いますが、その他何か強化していることはありますか。
A9	各保育所が防災マニュアルを策定し、毎月1～2回、給食時や睡眠時など様々な場面を想定した訓練を行っています。また、市内一斉のシェイクアウト訓練にも参加したり、起震車を呼んで地震の揺れを体験してもらう取り組みなども行っています。
Q10	給食費を一部負担してほしいという声があります。
A10	保育所の給食費を無償化するには、毎年2,700万円程の財政負担が必要です。保育所に通っている世帯の負担軽減にはなりますが、子育て世代全体への効果的な財源の活用について検討していきたいと考えています。
Q11	屋内で遊べる場所が増えたらいいな、という声が多くあります。
A11	現在は、具体的な計画はありません。保護者の皆様の声を集めながら、検討していきたいと思えます。
Q12	近い将来、JA跡地に立つ複合施設内に子どものスペースを設けていただけるとの情報がありますが、どのような内容、遊具が検討されていますか。
A12	施設内には、キッズコーナーを計画しています。遊具等の具体的な検討はこれからですが、おもちゃなども置き、小さな子ども達も安全に過ごせるスペースにしたいと考えていますので、ご要望等ありましたら、教えてください。

Q 参加者からの質問・意見
A 市からの回答

Q13	(文化複合施設) 施設内に小学生の子どもたちが集える、遊べるような場所がありますか。
A13	キッズコーナーの他、文化芸術やイベントの情報を専門誌やモニターで閲覧できる情報コーナーを設ける予定です。また、共用スペースは、子供たちが自由に集い、勉強なども出来る環境にしたいと考えています。また、隣接する五月公園についても、施設整備にあわせ、リニューアルする予定としておりますので、天気の良い日には、公園も一緒にご利用いただければと思います。
Q14	(文化複合施設) トイトレ中の子どもも使いやすいような子どもトイレを希望する声もあります。
A14	キッズコーナー付近に、子ども用のトイレ(個室)を設置する計画としています。
Q15	(文化複合施設) 子どもトイレはどのようなものでしょうか。
A15	小さい子供用の小便器と大便器を計画しています。
Q16	(文化複合施設) 授乳室はありますか。また、その設備はどのような内容を検討されていますか。
A16	1階と2階に授乳室を計画しています。設備としては、手洗い場を設置する予定としていますが、ご要望のものがありませんでしたら、教えていただければと思います。
Q17	(文化複合施設) 飲食できる場所は子どもを連れていきやすい環境になりますか。
A17	情報コーナーの一角に飲食(軽食)を提供できるスペースを計画しています。また、館内の共用スペースは、自由に飲食をしていただくことを想定していますので、子育て中の皆さまがくつろいで過ごしていただけるような環境にしたいと考えています。
Q18	中村地区だけでなく、具同地区にも遊び場を、という声があります(特に小学生。赤鉄橋は渡ってはいけないというルールだそうです)。検討されていることはありますか。
A18	具同地区へ児童館のような施設を整備するという具体的な計画はありませんが、具同にある公園の一部については、近隣公共施設の再整備と合わせ、リニューアルを計画しています。その際には、地域住民へアンケートを実施するなど、ニーズに沿った整備をしていきたいと考えています。
Q19	他に検討中の子育て支援の取り組みがあったら教えてください。
A19	病児保育について、医療機関と協議をして実施の可能性を探していますが、用途はたっていません。今後も実施できる方法がないか検討していきます。
Q20	具同地区に災害時の救護所を検討してほしいです。
A20	医療救護所は、医療スタッフや医薬品等の備蓄が必要なため、病院前を指定するようにしています。具同地区は指定していた医療機関から協定解除の申し出があり、令和元年度に解除になっています。具同地区に設置できるよう、再度医師会及び医療機関と協議をしていく予定です。
Q21	子育てに関する、ベビはぐとは異なる、専門家を配置した相談窓口を立ち上げてほしいです。
A21	現在は、「ベビはぐ」で保健師及び助産師が、「子育て支援センター」で保育士が対応しています。また、「家庭児童相談室」でも相談員が様々な相談の対応をしています。一般型の利用者支援事業による総合的な相談窓口の設置には専門員の雇用など課題が多く実施ができていませんが、現在の体制でも寄り添った支援ができるよう、研修などを行い各相談窓口の充実化を図っていきます。
Q22	子育てに関する取り組みやイベント、支援施策などについて、情報発信力を強めてほしいです。
A22	子育てに関する情報提供を行う「子育てフェイスブック」を準備中です。現在、関係各課で情報提供の方法などを調整しているところでして、年明け頃から運用開始できる見込みです。
Q23	子育て支援センター“ぽっぽ”さんについて、子どもの生活リズムに合わせた開所時間にしてもらいたい、という声があります。変更を検討いただける可能性はありますか。
A23	安全な環境で過ごしていただくために、毎日朝・昼・夕の3回、清掃・消毒作業を行っています。そのため、現在の人員体制では朝夕の時間の延長や昼休み時間の開所は難しく、対応できていません。
Q24	産後ケアの必要性をどのようにお考えか、お聞かせいただきたいです。
A24	産後は、自分の体調が回復する間もなく育児が始まるため、心身ともに不調が出やすい時期です。母親の体調管理や育児の困りごとへの支援が必要だと考えています。
Q25	文化や芸術を体験したり触れる機会や取組としてどのようなことを行っているか。
A25	四万十川国際音楽祭のジュニア弦楽アンサンブル講座や、四万十川こども演劇祭の保育所・小学校での劇団公演のほか、保育所を対象に、保育の会人形劇分科会による人形劇、図書館出張お話し会、小中学生や音大生による演奏会などの鑑賞を実施しています。また、歴史文化を知る機会として「まちなか探偵団」や郷土博物館企画展でのクイズラリー、学校への出前講座なども行っています。